

デイハウ斯里ぼんについて

本市には、府内産材を活用した木造施設としてデイハウ斯里ぼんがある。本施設における木材利用について設計会社に対しヒアリングを行い、併せて現地見学を行った。

1 施設概要

(1) 概要

デイサービス施設

(2) 竣工

平成28年1月

(3) 設計・施工

設計：Ms 建築設計事務所

施工：コアー建築工房

(4) 構造

木造2階建て

(5) 写真





(6) 事業費

5,700 万円（森林整備加速化・林業再生事業費補助金（林野庁）：1,000 万円）

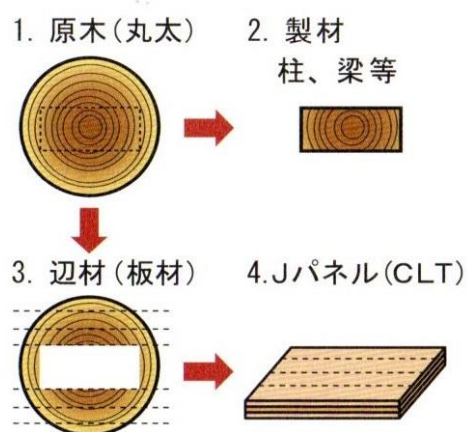
(7) 府内産材の利用

補助金要件だったこともあり、府内産材を利用している。主に河内長野産材を使用。鳥取で J パネル（CLT の 1 種）に加工している。なお、J パネルは鳥取 CLT が製造している。

使用理由	補助金要件だったため
主な産地	河内長野産材
木材使用量	51.7 m ³ （うち、府内産材 37.7 m ³ ）

2 本施設の特徴

- ・主要構造材に府内産材を使用、その辺材部を耐力壁や水平構面の J パネル（CLT の 1 種）として活用、構造躯体が同時に内装材となることで、仕上げ工程を省略、コストダウンを実現。
- ・災害時の拠点として利用できるよう、太陽集熱床暖房（OM ソーラー）や雨水を活用できる設備を導入。外部空間の緑化を図り、自然エネルギーを最大限利用している。



(資料提供：Ms 建築設計事務所)

3 木造にした経緯、効果

(1) 経緯

元々木造に興味があったわけではなく、経済的な観点から補助金活用できる木造にした。

(2) 効果

木造にすることで、木の香り等の木の良さに実際に触れながら働けるという点において、労働環境も良くなり、施設で働きたい人も増えた。